



参議院議員 全国区

く す お

大島九州男



福岡事務所
福岡県直方市感田 1466-3
国会事務所
東京都千代田区永田町

2-1-1
参議院議員会館910号室
電話03-6550-0910
kusuo_ooshima02@sangiin.go.jp

ホームページも
ご覧下さい
<http://kusuo-o.net/>



本会議登壇

大島九州男議員は参議院本会議で「TPP協定締結に伴う関係法律の整備に関する法律の一部改正案」に対する反対討論を行いました。

この法案は環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（TPP 11協定）を締結しこれを実施するため、協定締結に伴う関係法律の整備に関する法律（TPP整備法）について一部改正を行うものです。

大島議員は、政府の見通しの甘さと対策の不十分さを厳しく指摘し、「まず足下の国内における農業生産基盤を確保し、地域の特性に応じた農業の持続的な発展に努めることが必要」と訴え、TPP 11協定は我が国の農業と国民の暮らしに大きな悪影響を与える可能性がある」と強く主張して、反対討論を締めくくりました。

大島議員は冒頭で「うそつ

かない。TPP断固反対。ぶれない。」と広報して選挙を戦いながら、政権交代した途端国民への約束を反故にしたと政権与党の政治姿勢を厳しく批判し、下記を理由に本法案に反対を表明。

また、他党派と共同で本法案への対案として「畜産経営の安定に関する法律及び独立行政法人農畜産業振興機構法の一部を改正する法律案」を提出していることを紹介しました。

日本の畜産業の厳しい状況を考え、TPP 11協定発効の有無にかかわらず牛マルキン（肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に生産者と農畜産業振興機構の基金から補てんする事業）及び豚マルキンの法制化を進めて、速やかに生産基盤の強化を図ることが重要だと訴えました。

詳細はHPをご覧ください